

オーレックス アドレスユニット 基本接続図 形名 AD-2 サービスマン用



安全性能維持のため必ず指定部品を御使用ください

特長

- カセットデッキの基本性能を大幅に改善
 - ①全帯域のノイズレベルを下げ、10kHzでは従来の $\frac{1}{2}$ (30dB)以上も低減することができる。
 - ②最大録音レベルを約7dB(1kHz)引き上げ、100dB以上のダイナミックレンジを確保。
 - ③歪も低減。0dB付近では従来の $\frac{1}{2}$ 、+10dBでは $\frac{1}{3}$ に改善されます。
- より使い易くなった付属機構

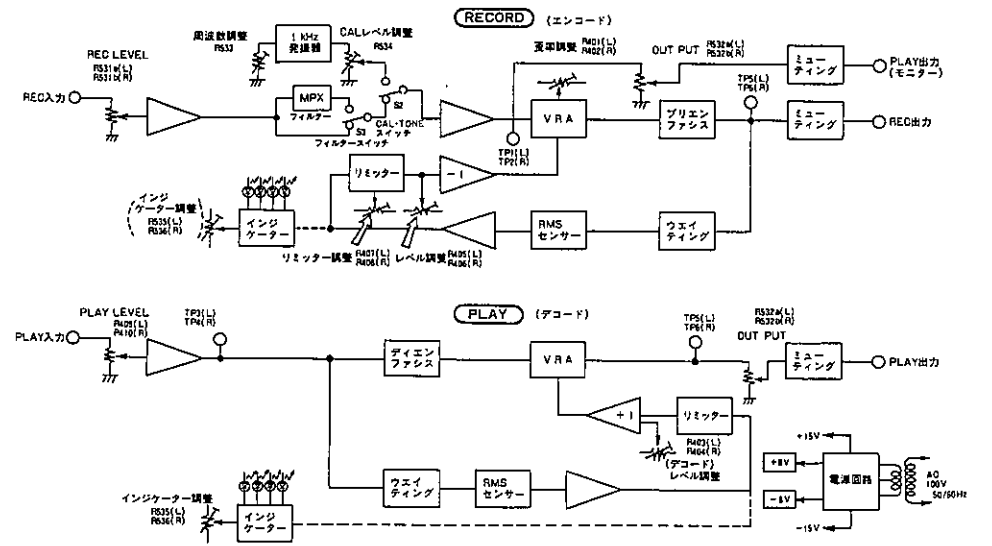
- ・-3dBを表示する LEDレベルインジケータ (表示方法は本文2頁参照)
- ・音量合わせに便利な 出力ボリューム 付
- ・アドレスPASS時も録音マスターボリューム経由
- ・誤操作を防ぐ アドレスインジケータ (録音、再生) つき
- ・CALボリュームつまみつき
- ・録音時、アドレスユニットのアンプ出力端子には、アドレスユニットの入力がそのまま出ています。(ソースモニターが可能)

仕様

チャンネル数: 2チャンネル(録音、再生切換式)
 入力インピーダンス: 50k Ω
 基準入力レベル: エンコーダー 100mV
 デコーダー 150mV
 最大入力レベル: 5V
 基準出力レベル: エンコーダー 150mV
 デコーダー 300mV
 負荷インピーダンス: 10k Ω 以上
 キャリブレーション: 1kHz 150mV (エンコード・アウト)
 リファレンスレベル: 1kHz 150mV (デコード・イン)
 周波数特性: エンコード、デコードにおいて 20Hz~20kHz \pm 1dB (基準出力レベル)
 歪率: エンコード、デコードにおいて 0.15% (基準出力レベル、1kHz)

アドレス効果 (当社カセットデッキ比):
 最大録音レベル 1kHz 7dB改善 (飽和レベル)
 ノイズレベル 10kHz 30dB以上低域 1kHz 20dB " 100Hz 17dB "
 ダイナミックレンジ 1kHz 30dB拡大 (飽和レベル-ノイズレベル)
 総合S/N比 20dB以上改善 (ピークレベル、WTD)
 歪率 $\frac{1}{2}$ に改善 (0dB、400Hz)
 過大入力 (+10dB) に対しては $\frac{1}{3}$ に改善
 使用半導体: IC8、Tr13、Dio19 (内LED.8)
 電源: AC100V 50/60Hz
 消費電力: 7W
 ACアウトレット: UNSWICHERED 1個 (150W)
 外形寸法: 幅420 \times 高さ57 \times 奥行205mm (つまみ、ゴム脚含む)
 重量: 2.7kg

ブロックダイアグラム



AD-2調整要領

No	項目	基準値	使用テータ	ボリューム	ス	スイッチ		入力信号	入力	調整箇所	テストポイント	方法
						FUNC	CAL					
1	歪率調整	0.13%以下						1kHz -20dB(100mV)	IN PUT (AMP)	R401(L) R402(R)	TP5(L) TP6(R)	最小に調整する
2	ENCODEレベル	390mV \pm 0.3dB	300					1kHz -20dB(100mV)	IN PUT (AMP)	R405(L) R406(R)	TP5(L) TP6(R)	
3	No.1項再確認											
4	LIMITER調整	-2 \pm 0.3dB						1kHz \rightarrow 10kHz -20dB(100mV)	IN PUT (AMP)	R407(L) R408(R)	TP5(L) TP6(R)	1kHzに対し10kHzが-2dBになるように調整
5	CAL調整	1kHz \pm 50Hz 300mV \pm 0.5dB								R533(L) R534(R)	TP5(L) TP6(R)	1kHz \pm 50Hzの範囲に調整
6	DECODEレベル調整(1)	+2 \pm 0.3dB						1kHz \rightarrow 10kHz -16.5dB(150mV)	PLAY (DECK)	R403(L) R404(R)	TP5(L) TP6(R)	
7	DECODEレベル調整(2)	300mV \pm 0.7dB						1kHz -16.5dB(150mV)	PLAY (DECK)		TP5(L) TP6(R)	
8	IND点灯感度調整							1kHz -16.5dB(150mV)	PLAY (DECK)	R535(L) R536(R)	インジケータ	ローアワー、アッパのLEDをL/R共同に明るさで点灯
9	ENCODE出力	-41 \pm 2.5dB						1kHz -20dB \rightarrow -80dB	IN PUT (AMP)		TP5(L) TP6(R)	-20dBから-80dBにした時のレベル差
10	ENCODE F特	-2 \pm 0.5dB						1kHz \rightarrow 10kHz -20dB(100mV)	IN PUT (AMP)		TP5(L) TP6(R)	1kHzに対し、10kHzのレベル差
11	ENCODE歪率	0.2%以下						10kHz -20dB(100mV)	IN PUT (AMP)		TP5(L) TP6(R)	-16.5dBから-46.5dBにした時のレベル差
12	DECODE出力	-46.5 \pm 2.5dB						1kHz -16.5dB \rightarrow -46.5dB	PLAY (DECK)		TP5(L) TP6(R)	
13	DECODE歪率	0.2%以下						1kHz -16.5dB(150mV)	PLAY (DECK)		TP5(L) TP6(R)	
14												
15												

サービスガイド79-42参照
本接続図は基本接続図ですので性能向上、その他によって、実際と一部異なる場合があります。

印刷基板図

Q403, 404

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-8V	0V	0.7V	1.3V	0V	8V	0.7V	0.14V	0.05V	0V
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
0V	0V	0V	0V	-8V	1.3V	0.7V	0V	0V	8V

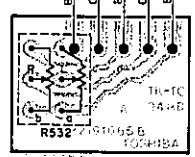
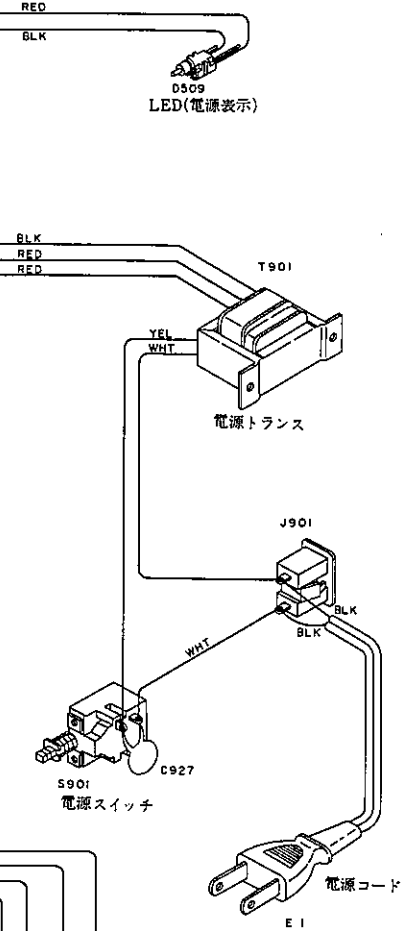
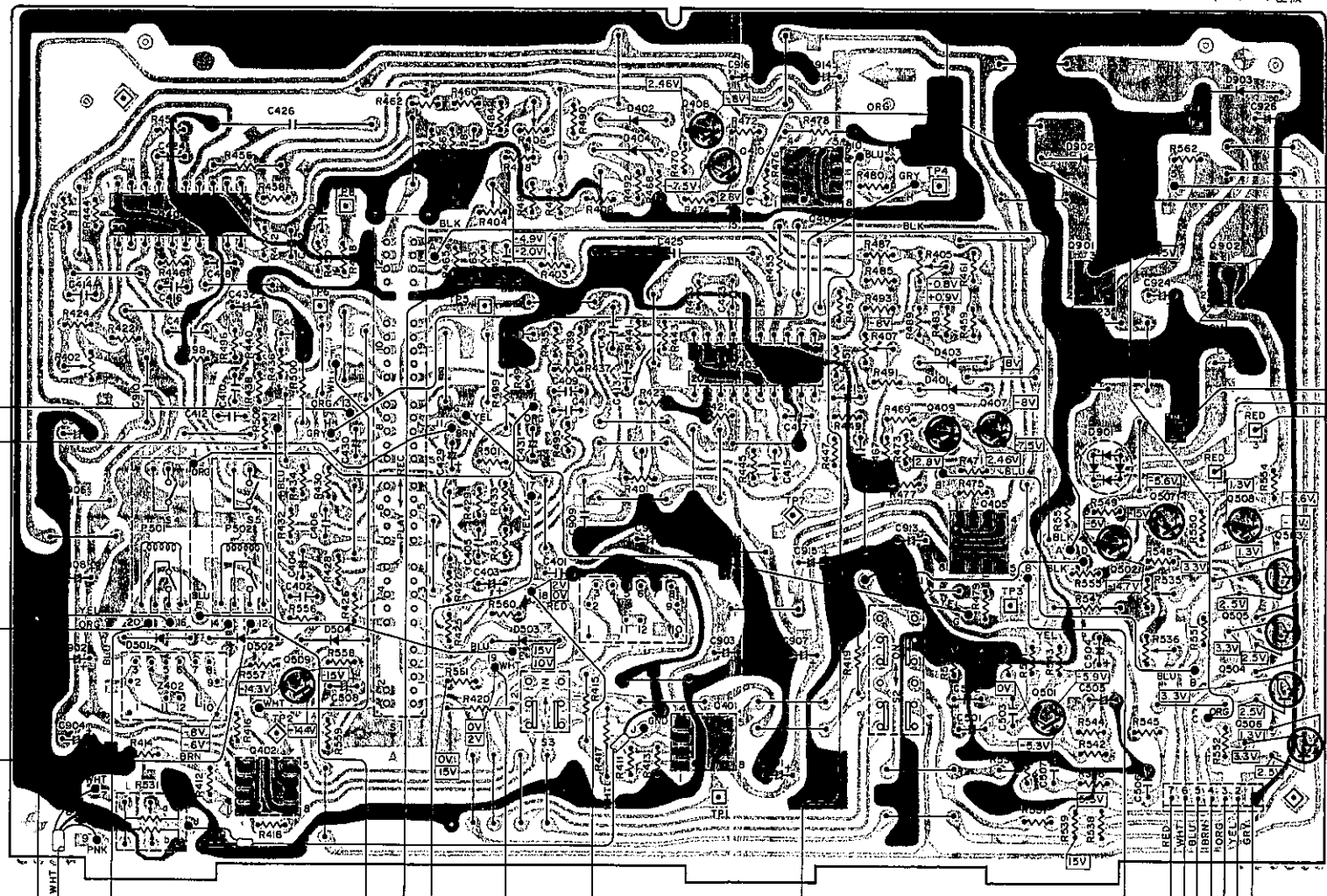
Q401, 402

1	2	3	4	5	6	7	8
0V	0V	0V	-8V	0V	0V	0V	8V

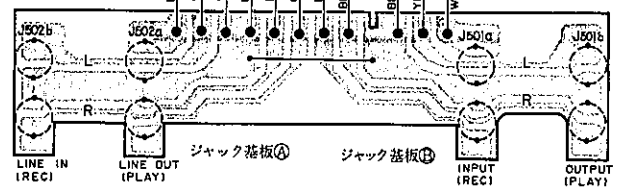
Q405, 406

1	2	3	4	5	6	7	8
2.7V	0.14V	0.14V	-8V	0V	0V	0V	8V

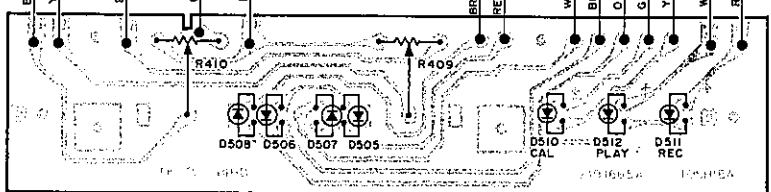
メインアンプ基板



キャリブレーション基板



ジャック基板



キャリブレーション基板

●各部のDC電圧は1KHz基準入力(再生)の時の電圧値(録音/再生)です。
●但し録音/再生で電圧が異なるものは上段は録音、下段は再生の値を示す

A

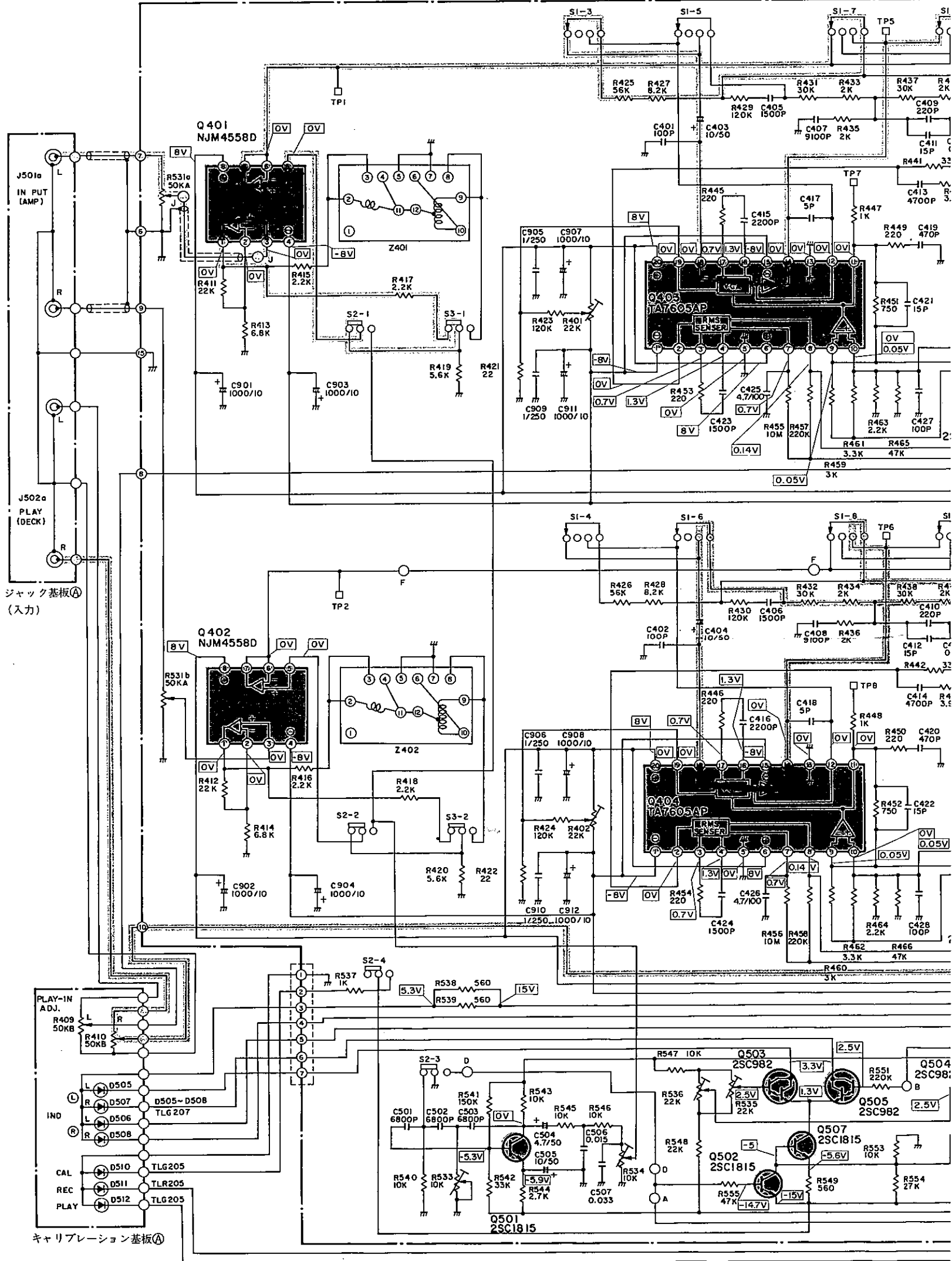
B

C

D

E

F

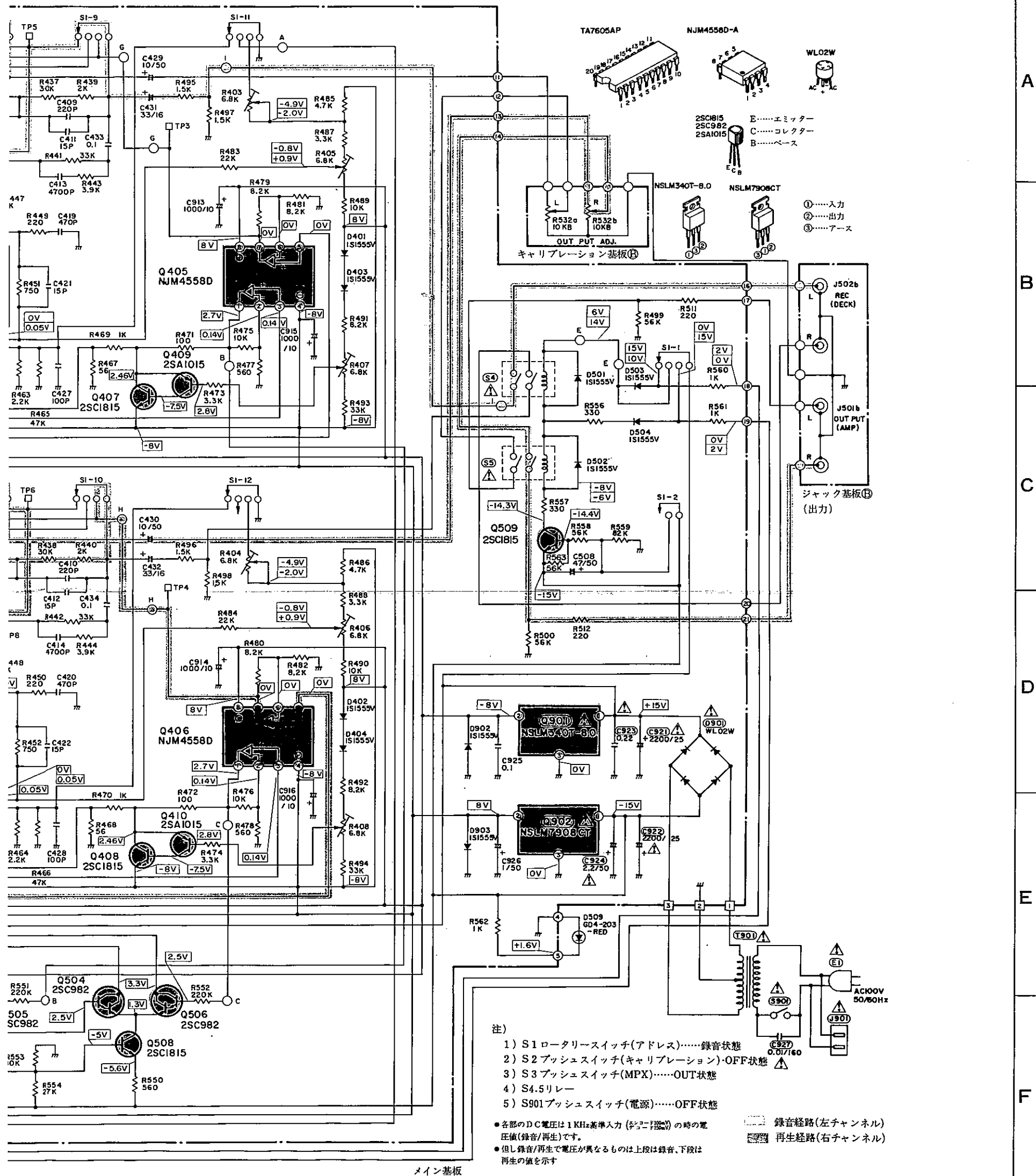


4

5

6

7



注)

- 1) S1 ロータリースイッチ(アドレス)……録音状態
- 2) S2 プッシュスイッチ(キャリプレーション)-OFF状態
- 3) S3 プッシュスイッチ(MPX)……OUT状態
- 4) S4.5 リレー
- 5) S901 プッシュスイッチ(電源)……OFF状態

●各部のDC電圧は1kHz基準入力(フェード調整)の時の電圧値(録音/再生)です。
 ●但し録音/再生で電圧が異なるものは上段は録音、下段は再生の値を示す

録音経路(左チャンネル)
 再生経路(右チャンネル)

メイン基板

4

5

6

7